

あらゆるスポーツに関わる皆さまへ

第8回 スポーツ 医学検定

開催日

2020年

11月29日(日)

検定申込締切

2020年10月16日(金) 正午

検定会場

札幌・東京・大阪・福岡(1級～3級)

仙台・前橋・横浜・名古屋・神戸・沖縄(2級・3級)

資格 誰でも受検できます

検定料 3級 4,800円 2級 5,400円 1級 7,800円

*併願割引: 3級・2級 9,800円、2級・1級 12,400円

*Web受検(初級のみ980円)はいつでも受検可能

スポーツのケガを減らし、
笑顔を増やす

お申し込み・詳細はこちら

<https://spomed.or.jp/>

スポーツ医学検定

検索



スポーツ医学検定 とは？

一般の人を対象にした、身体のことやスポーツによるケガの知識を問う検定試験です。本検定で得られた知識を①ケガの予防、②ケガからの競技復帰、③競技力の向上に活かします。

多くの方が、スポーツ医学の正しい知識を学ぶ機会を得られることを大変嬉しく思います。正しい知識は自分の健康のみならず周りの人をも健康にします。是非多くの方に参加していただきたいと思います。



東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
スポーツディレクター

室伏 広治

スポーツ医学検定公式アプリ 登録無料

過去問、新型コロナウイルス感染症からのスポーツ再開、スポーツ医学英会話などの情報があります。(一部有料)

パソコン



App Store
からダウンロード



GET IT ON
Google Play



<https://spomed.schoiz.jp/>

公式テキスト

2級・3級 改訂版 定価 2,090円(税込)
1級 定価 2,970円(税込)

好評発売中

公式過去問題集
2級・3級
定価 2,200円(税込)



ご購入はこちらから ▶ Amazon・東洋館出版社

『スポーツのケガを減らし、笑顔を増やす』

スポーツ医学 検定の理念

近年、スポーツに対する社会の関心は高まっていますが、華々しいスポーツの舞台裏では、ケガのためにパフォーマンスが出ない選手、長期の競技離脱が必要な選手、引退を決意する選手がいます。また、スポーツが広く根づく社会を築くには、トップレベルのアスリートのみでなく、子供から高齢者までが安全で楽しくスポーツに取り組める環境が必要です。

私たちは、より安全でケガの少ないスポーツ環境を作るため、メディカル関係者が持つスポーツ医学の知識を、スポーツ指導者・スポーツ選手の保護者・マネージャー、そしてスポーツ選手自身に広めたいと考えました。「スポーツ医学検定」を通じてスポーツ選手のケガが減少し、それが競技力の向上や日本のスポーツの発展につながれば幸いです。

各級の目安

3級 ベジック

身体やスポーツのケガの最も基本的な知識が問われます。スポーツ医学に初めて触れる人は、ここから目指しましょう。
→スポーツ選手自身、成長期の選手の保護者、部活のマネージャーなどにおすすめ

身体やスポーツのケガのより詳しくより広い知識が問われます。スポーツを指導する人はここを目指しましょう。

→スポーツ指導者、部活の顧問、スポーツ系／体育系の学生などにおすすめ

2級 アドバンス

1級 マスター

身体やスポーツのケガの専門的な知識が問われます。スポーツメディカルに関わる人はここを目指しましょう。
→スポーツメディカルに関わる人、関わりたいと思っている人などにおすすめ



ウェブで受検できる初級では、誰でも知っておきたい身体やケガの初歩的な知識が問われます。会場受検前のトライアルにどうぞ。

初級

スポーツ医学検定 合格認定カード

スポーツ医学検定の合格者の皆さままでご希望の方に、合格認定カードを発行いたします。



価格 2,500円(配送手数料込)
※申込期間外や再発行時は、4,500円。
◇材質 プラスチック
◇サイズ 免許証サイズ
◇印字内容 級、氏名、認定日

日本ラグビーフットボール協会
コーチングディレクター

中竹 竜二



みなさん、スポーツは好きですか？ するのが好き、観るのが好き、教えるのが好き、何か手伝うのが好き。そう、スポーツにはさまざまな関わり方があります。何かしらスポーツに関わる全ての人を「スポーツファミリー」として考えた場合、それはとてもとても大きなコミュニティが生まれます。このスポーツ医学検定は「選手の安全」を継続・進化させるための柱となるでしょう。ぜひ、スポーツファミリーを広げていきましょう。

マラソンランナー
スポーツコメンテーター

谷川 真理



スポーツ選手はトップを目指すほどケガのリスクをとまいます。また、ただやみくもに練習をしてしまうほど怖いものはありません。スポーツ医学検定で故障をする前に正しい知識を得ることによって、未然にケガを防ぐきっかけにもつながります。自分の身体のことを知ってより長くスポーツを継続できることを願っています。

パラリンピック水泳
東京オリンピック・パラリンピック競技大会
組織委員会理事

成田 真由美



体のこと、体のもつ可能性のこと、ケアのことなどをきちんと判断できる人が増えることは、スポーツ界のすそ野を広げることにつながります。世界に通用する選手を一人でも多く育てるためにも、スポーツを長く続けたい人を増やすためにも、スポーツ医学検定に可能性を感じています。

パートナー： 育英メディカル専門学校／日本総合医療専門学校／久留米大学人間健康学部スポーツ医科学科／東洋館出版社
学校法人葵学園(埼玉医療福祉専門学校、葵メディカルアカデミー)／学校法人花田学園(東京有明医療大学、日本鍼灸理療専門学校、日本柔道整復専門学校)
学校法人横浜 YMCA スポーツ専門学校／Stadio Gullit／公益社団法人大阪府柔道整復師会大阪府柔道整復師会専門学校
RUNNING CLUB JAPAN<一般社団法人日本ランニングクラブ協会>／株式会社SUW／専門学校社会医学技術学院／北海道スポーツ専門学校／株式会社 GOOD・JOB
合同会社 OneSelf／福岡医健・スポーツ専門学校／福岡大学スポーツ科学部スポーツ医学研究室／学校法人小倉学園新宿医療専門学校／株式会社 encounter
埼玉県立大宮東高等学校／学校法人米田学園 米田柔整専門学校／学校法人 朝日医療学園 朝日医療専門学校広島校／「礎」教育総研／大阪国際大学 スポーツ行動学科
信州スポーツ医療福祉専門学校

※パートナーを希望される学校・団体様はホームページをご覧ください。